

文化庁京都移転の方針決定について

京都の未来像を「世界交流首都・京都」とする「京都ビジョン2040」に基づいて、京都府・京都市、経済界、文化関係団体などオール京都が一体となって文化庁の誘致を推進してきた。

今回、政府がまとめた基本方針に京都への移転が明記されたことは、こうした京都の本気度、熱意が伝わった結果であり、心から歓迎するとともに、誘致活動に協力いただいた皆様に厚く御礼申し上げたい。政府の歴史的な決断を受けて、全国で始動している地方創生の取り組みにも弾みがつくと期待している。今回の快挙は、京都にとって、かつての都の一部が戻ってくるという歴史的な出来事と受けとめている。

文化を中心とする国づくりや文化振興による地方創生を実現するために、文化庁を迎える京都の役割と責任は極めて重い。「文化庁が京都に移ってよかった」と評価いただけるよう、オール京都が連携して受入れ体制を整えるとともに、文化庁の機能強化に貢献していきたい。

以上

平成28年3月22日

京都商工会議所

会頭 立石 義雄